

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

|         |  |    |        |
|---------|--|----|--------|
| 代表者氏名   | 鈴木公啓   | 所属 | 東京未来大学 |
| 研究集会等名称 | よそおい・しぐさ研究会  |    |        |
| 成果概要    | <p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員       のべ 19名（うち認定心理士 3名）<br/>非会員     のべ 15名（うち認定心理士 0名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等<br/>（実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>本研究集会は、よそおい（装い・粧い）やしぐさ、ふるまい等、広い範囲の外見と評価に関するテーマについて検討することを目的としている。</p> <p>2013年度は2回の研究会開催を関東および関西それぞれに企画した。</p> <p>■第15回「現象学的視座による化粧の意味と可能性」<br/>日時：2014年1月24日（金）13:30～15:30<br/>会場：聖心女子大学2号館3階 人間関係研究室<br/>話す人：石田かおり（駒沢女子大学）<br/>参加者数：23名</p> <p>■第16回「「化粧する」ことに対する意識変化—1990年代から2000年代の少女向け雑誌からの考察」<br/>日時：2014年2月21日（金）14:00～16:00<br/>会場：立命館大学朱雀キャンパス 209教室<br/>話す人：小出治都子（立命館大学アート・リサーチセンター客員研究員）<br/>参加者数：11名</p> <p>公開企画であり、他分野の研究者も含め、関連研究を紹介・共有する上で一定程度の成果が得られたと考えられる。登壇者の都合で、開催時期が偏ってしまったが、次年度はその偏りが無いように調整していく予定である。今後も地道に活動を続ける中で、本領域が、心理学全体に提供できる知識を蓄積していくことを目指す。</p> |    |        |

2014年3月27日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 よそおいしぐさ研究会

研究会番号 研13011

助成金額 ¥20,000

| 年月日        | 項目        | 金額      |
|------------|-----------|---------|
| 2014年1月24日 | 講師謝礼 (1名) | ¥10,000 |
| 2014年2月21日 | 講師謝礼 (1名) | ¥10,000 |
| 支出合計       |           | ¥20,000 |